

シーン4

「みんなようこそー ギャル子ちゃんのおもちゃの時間だよー 来てくれてありがとねー」

「今日はー先週の配信でみんなからたくさん投げ銭をもらったので、そのお金で買った、触手通販最高額のスペシャルセットを使ってみようと思いまーす」

「たくさん入ってて時間かかりそうなのでもう裸になっておきましたーみんながどんどん投げ銭してくれたからアタシの部屋触手だらけ、触手に囲まれてるギャル子ちゃん」

「すごい映像だね、楽しみー」

「ただし、説明書にフルマラソンしても問題ないくらいの体調管理をしておいてください
ってあるんだけど、まあ、それなりに体の調子はいいけど、不安……ま、みんなが見てくれれば大丈夫か！」

「みんながお金出してくれた触手でめちゃくちゃ乱れちゃうよ。おちんぼの準備はできてるかな？ んじゃ、今日もギャル子ちゃんदैっぱいシコってね！」

「今日はさ、意図通り触手に責められてイキまくっちゃうと思うから好きなタイミングでセーシビュルビュルって出しちゃってねー じゃー、とりあえず近くにあるやつから使ってくかな。んっと、これは……吸い付きタイプか」

「どこに使う。とりあえず乳首だね、なんかさ、この触手セット、これまでのより一回り大きいんだよね」

「その分刺激も強いのかなー？」 んうううつ……ううつ、んうつ、あつ、あつ、ああつ、はあんっ……すごい吸ってくる」

「んんっ、ああっ、んあっ、はあっ、ああっ、ああんっ……乳首伸びちゃうよ。はああっ、ああっ、んあっ、ああっ、ああんっ……」

「最近触手プレイばっかだったから体も反応よくなっちゃってる。んううつ、ああっ、ああっ、ああっ、ああうつ、んううつ……え、「ギャル子ちゃんいきなり感じすぎ」」

「これすごいんだから」

「みんなも買って使ってみたらわかるからあああつ、ああっ、ああうつ、ううつ、んああっ……こればっかで楽しんだら使いきれないよね」

「んっ、んっ、んっ、んあっ……じゃあ、これも一緒にブラシ型の触手を反対の乳首に……んはあっ、はっ、はっ、はっ、はっ、はううつ……」

「乳首、ブラシでシャカシャカされるのゾクゾクするう。はあっ、ああっ、はあっ、はふっ、はっ、あふっ、んふっ、ううつ……右乳首は強引にチューチュー吸われて、左乳首は優しくサッサッて撫でられて、はあっ、ああっ、あうつ、はあっ、はううつ……どっちも気持ちよすぎるっ」

「ああんっ、ああうつ、んうつ、ああんっ……へ、「次の触手まだー」って、もう乳首感じすぎてわかんない。んああっ、ああっ、ああっ、ああんっ……あ、しゃぶってくれたさそうにしてる触手くん、はっけーん」

「あううつ、ああっ、ああっ、あはああっ、ああっ、ああんっ……もう動けない、触手に好き放題されるだけになっちゃった。んはあっ、ああっ、ああっ、ああっ、ああっ、ああっ、んはあっ……いくっ、もういっちゃよ」

「アタシ、イカされちゃう」

「ああっ、ああっ、……いくっ、いくっ、いくっ……うつ、んうつ……いつくううつ……！ ううつ、んっ、んっ、んうつ、んうつ、んんうつ……」

「はあ……はあ……はあ……気持ちよかったあ……へっ、みんなも一緒にセーシ出してくれたんだね……あっ、まだイケてない子もいるんだ」

「全然いいよ」

「今日はガンガンいっちゃうから」

「体調もバッチリだし。限界まで挑戦しちやおうかな」

「次はどれにしてみよっか。うーん……一番でかい袋ってそれも触手なの？」。あーこれね。アタシもびっくりしちゃったよ」

「これも触手なんだって……「それ使って、めっちゃ気になる！」　まあ、アタシも気にはなるけどさー」

「いっちゃう？　いっちゃおっか！」

「なにが入ってんのかちゃんと見てないんだよねー」

「え、卵なのこれ……ええ、出産プレイ？ あっ、理解できなくてフリーズしちゃった。体への悪影響はほばありません、って……」

「もう！ わかったよ。アタシも実況者だもん、根性見せなきゃだよね！」

「椅子？ なのかな。えーっと、これに座れば始まるみたい、うー、なにが起こるのこれ。不安……ワクワクもあるけど」

「じゃあ座っちゃうよ。ごちゃごちゃしてるけど見えてるよねー？ ふるふるしてるんだけど座れるのかな？ ベチャってなったりしないよね……」

「よっと」

「わっ、変な感じ、ゼリーに座ってるみたい。しっかりしてるけどプルプル」

「うわっ、触手出てきた。全身に……って、粘液とろとろさん「エロ漫画でみたやつだ、そうですー、これから触手エロ漫画で王道の苗床プレイするんですー」

「……大丈夫だね。あ、あっ……んああっ……おっぱいに吸い付いてきてる。はああんっ……おまんこの中にも触手きた」

「んっ、んっ、んううっ……もう慣れちゃった……んんっ、んううっ、ああっ……今日は特別な回なんだからどんどん犯してきてっ、んんっ、んうっ、ううっ、ううっ、んううっ、はあうっ……」

「なにが出産プレイなの。これまでと一緒にじゃん、んんっ、んうっ、うっ、うっ、んううっ……こんなんじゃ連続イキとかしないからね」

「んっ、んっ、んんっ、んううっ、んはっ……おまんこ触手でぐちゃぐちゃにしてきてっ、イかせてよっ。んっ、んうっ、うっ……刺激全然弱い」

「まだまだ前戯レベルうううっ……！ あっ、あっ、ああっ……ブラシの触手いつの間にでてきたの、おっ、おっ、おっ、おおっ……クリちゃん、シャカシャカされるの……おっ、おっ、ほおっ、おおっ……気持ちいいっ」

「んおっ、んおおっ……待って待って。おまんことアナルに触手入ってきてる、同時はダメだってええええっ。んううっ、ううっ、んぐうっ、ううっ、ううっ、んおおっ……」ギヤル子、すぐ感じておもしろ」って、感じてるアタシで面白がるなあああっ」

「ああっ、ああうっ、ううっ、ううっ、んううっ……ふた穴責めやばいっ2本の触手がこすりあうみたいにズボズボしてるの。おまんことアナルの間のお肉ズリズリされるのすごいっ、んああっ、あうっ、ううっ、ううっ、んああっ、ああんっ……」

「これやばいっ。あっ、あっ、あっ、あっ、ああうっ……イっちゃう、連続イキしちゃう。はあっ、ああっ、ああっ、ああんっ……「結局イっちゃうね」ってうるさい！」

「こんなの無理っ、おまんことアナルとクリちゃん同時になんて気持ちよすぎるんだもん」
「みんなはおまんこもクリちゃんもないからわからないでしょ、ああっ、はあっ、ああっ、ああっ、ああうっ、んああっ……」

「女子リスナーならわかってくれるよねっ、ああんっ、あはっ、ああっ、ああうっ、んうっ、ううっ、んああっ……あ、あっ……ぶっとい管が伸びてきてるんだけど」

「これでアタシ、卵産みつけられちゃうの……んあ♡……管がおまんこの中に入ってくる……んっ、ううっ、うっ……奥こじ開けられてる」

「子宮に触手入ってきちゃってるのに痛くない……体こじ開けられるの気持ちいい♡はあっ、はっ♡……んあ、あ、あっ♡ あああ♡ うそっ、うそうそ……子宮に卵入れられてるう」

「お腹、苦しい、んあっ……何個入ってくるの」

「お腹、ボコボコって膨らんでく、どうみても、ん♡ 妊婦さんになっちゃってる……こんなになってるのに、んあ♡ 痛くないの逆に怖い……はあ、はあ♡……んひい♡ ひうっ♡」

「卵産みつけられるの気持ち悪いけど、気持ちいい。怖いのに幸せが入って♡ これ凄い♡ しゅごい♡ ひいつ、ひう♡……ひっ、ひっ♡ ふー♡……ひっ、ひっ♡ ふー♡」

「子宮に卵が入ってくるとビクビクっておまんこ震えてるの。卵入ってくるだけでこんな、んあ♡ なっちゃってう、産むときどうなるの！ んひいつ、んあ♡……ひあ、ひっ♡ ふんんう♡……ひあ、ひあっ♡ ふーっ♡」

「あ、卵なくなてる。全部入れられちゃったのかな」

「んはあああっ……管も抜けてっちゃった」

「みんな見て、お腹ぽっこりしてる。アタシ妊娠しちゃったー」

「孕みギャル子ちゃんもエロい」、本当？　ぽっこりお腹でシコってもいいんだよー」

「えっ、うわっ、なにそれ。ぶっとくてゴツゴツの触手だぁ♡　ん、ふぁ♡　さっきの卵

植え付ける管の後だと硬くてごりごり入ってくるのが♡　んぁ♡　んんっ♡　ごめん無理

♡　実況してる余裕ない……んひい♡　んぁ♡　」

「しゅい♡　しゅい♡……ハッ、ハアッ♡……体全体が♡　持っ

てかれているみたいで♡　んおっ♡　びくんびくんって……もう出すの？　あたしの中に

ある卵にせーしぶっかけちゃうの！」

「はひいっ♡　んぁぁ♡……んぁぁぁ♡　出てる♡　せーしびゅっびゅって卵とまざっ

てえ♡　ひっぐう♡　ひうん♡　飛んじやう♡　イキすぎてあたし飛んじやう♡　はぁ、

はあっ……うあっ、触手さん全部だしきっちゃった……んっ♡　」

「ふえ、抜けきらないの……あっ、これせーしがこぼれないようにフタしてるのかな。ど
うだけアタシに種付けしたいの。下っ腹もザーメンでパンパンになっちゃった、もう自分
の体じゃないみたい」

「……ふふっ、みんなシコシコしてる。これでも興奮するとかギャル子ちゃんのこと好き
すぎでしょー」

「でもこれって、ほんとに大人のおもちゃ？　あたしのお腹三倍ぐらいに膨らんでるけど……お、おもちゃ使ったオナニーだから大丈夫だね。はは……全然苦しくもないんだけど、いろいろ不安に、って！」

「おしりに！　うそ、広げて入っちゃ、あ、あ♡　ううっ、んううっ、おおっ、おおっ、おおっ……おまんこがうまつてるからアナルとか」

「どんだけアタシの穴を犯したいの、おおっ、おおっ、おおっ、おおっ、ほおおっ、んおおっ……もう種付けできてるんだからいいでしょ」

「アタシが出産するまで大人しくしててよ。おおっ、んおおっ、んううっ、おおっ、おおっ……今激しいのはあ♡　んひい♡　お尻の奥で卵入ってる子宮ぐりぐりしちゃ♡　ダメえ♡　んおっ、おおっ、おおっ、おおっ……」

「おしりの穴♡　ピストンでごりごり♡　んひゃあ♡　んおおお♡　気持ちいけどおこわれちゃうからっ♡　ひゃあっ♡　触手さんいっぱい生えてきて♡　まさか、ましかあ♡　乳首にきちゃった、にゆるにゆる絡みついてきてる」

「ああっ、ああっ、ああっ、ああんっ……どっちの乳首も一緒にぐちゅぐちゅにされてるう、はあっ、ああっ、ああっ、ああうっ、んんっ、んううっ……みんなが乳首とか言うくらいいけないんだからねっ、んああっ、はああっ、ああっ、ああっ、ああっ、ああんっ……子宮に卵が詰まってるからアナルもこれまでと違うところに触手が当たってる」

「ああっ、ああっ、ああっ、ああんっ、んううっ……やばっ、そこ弱いところかも。アナルの弱点見つけられて触手に責められちゃってる」

「んああっ、はあっ、ああっ、ああうっ、ううっ、ううっ、んおおっ……足も開かせれちゃってる、んおっ、おおっ、おほおっ、おおっ、おおっ……」

「おまんこフタされてアナル犯されてるところみんなにじっくり見られちゃう。んおっ、ほおおっ、おおうっ、んおおっ、おおっ、おおっ、おおうっ……アタシが種付けされてぐちゃぐちゃにされてるところオカズにザーメンビャービャー出しちゃって」

「んおおっ、おほおおっ、おおっ、おおうっ……アタシもういくから」

「乳首グジュグジュにされて、アナルホジホジされながらいくっ。おおっ、おほおおっ、んおおっ……いくっ、いくっ、いくっ！」

「んんっ、んほおおおお……！」

「ううっ、んううっ……ああんっ……おまんこの触手抜けた」

「中でうねうねしてるのわかるう♡ あ、あ♡ 出ちゃう♡ アタシ、触手さん産んじやう♡ んひあっ♡ お尻の方から押しちゃ♡ あひっ♡ せーしとか噴水みたいにでてきて♡ んんん♡♡♡♡♡ でりゅうっ♡ んあっ♡ んひい♡」

「一匹づっ♡ ほんとに卵から孵ったみたい♡ んひいっ♡ 触手の赤ちゃんぷりぷり

出てくの気持ちいい♡」

「ヒッヒッフー♡ ヒッヒッフー♡……んひい♡」

「でりゅう♡ 触手ちゃん♡ 中で暴れながら出てくるのに♡ なんでこんな気持ちいいのお♡ あひっ♡ ヒッヒッフー♡ んあっ♡ 産みながらいくううッー♡」

「見てみてーははっ、アタシ、触手のママになっちゃったあ ピースピース」

「みんなー」

「触手ちゃん、アタシの腕ぐらいあるぷりっぷり。こうしてみるとグロ可愛い?」

「うわっ、これも動くんだ……え、え……いっぺんいはちょっと、んあっ♡ 乳首に吸い付いて♡ ああっ、ああっ、ああっ、んああっ……みんなでおっぱい飲もうとしてるうううっ」

「んあっ、あっ、あっ、ああんっ……おっぱいは出ないからあ」

「ちゅばちゅばするのエロすぎ。授乳で感じちゃうよお、んううっ、んああっ……いったばっかだから」

「感じやすくなっちゃってる。ああっ、ああっ、ああっ、んううっ……またイトっちゃう。触手ちゃんにおっぱいあげながらいくっ」

「ああっ、ああうっ、んううっ、はああっ、ああっ、ああんっ……いくううううっ……!」

「ひあっ♡……はあ、はあ♡ 感じっぱなしになっちゃうう」

「えっ、あっ、なんで」

「またあの触手の中に卵ができてるんだけど」

「なんでなんでなんで」

「動いてる。もしかしてまたくるの・待って、無理」

「連続イキだってやばいのに、連続種付けとかぶっ壊れちゃうからっ、んあッ♡んくう

♡……おうっ、お、お♡……んおあ♡ はひいつ♡ 子宮にまた卵入ってきてるう」

「あーっ、あーっ、ああああっ……フー、フーっ♡ え、前と後ろ同時はちよっと……あ、

んあっ♡ うそ、入っちゃった♡ ひうっ♡ ひっ♡……んひいつ♡ んお♡……イグう

♡ お腹の中めちゃくちゃなのになにイッちゃうう♡」

「あ♡ あっ♡ あああ♡ 触手気持ちいい♡ 触手ちゃんも触手さんもっ♡ 全部気持ち

いい♡ はひっ♡……ひっひっふー♡ ひっひっふー♡……んあ♡ きたきたきた♡」

「触手ちゃんが触手さんにかきだされて……んんん♡ 出ちゃう♡ ぶりゅぶりゅっ出

るたびに♡ イくのお♡ あは♡ あはは♡ もっと吸って♡ んちゅ♡ んぶっ♡ じ

ゅるじゅる♡……んぱっ♡」

「しゅいしゅい♡♡ んひい♡ イくう♡ イくうっ♡ イっちゃうううっ♡♡♡」